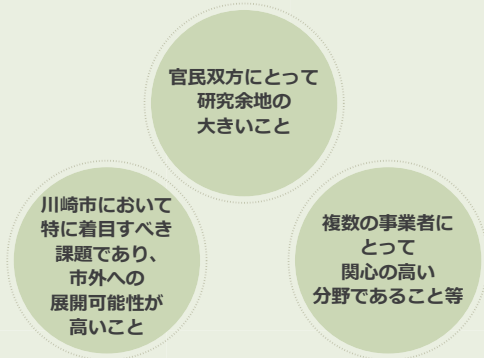


グリーンイノベーションの案件創出に向けた研究会とは？

研究会とは

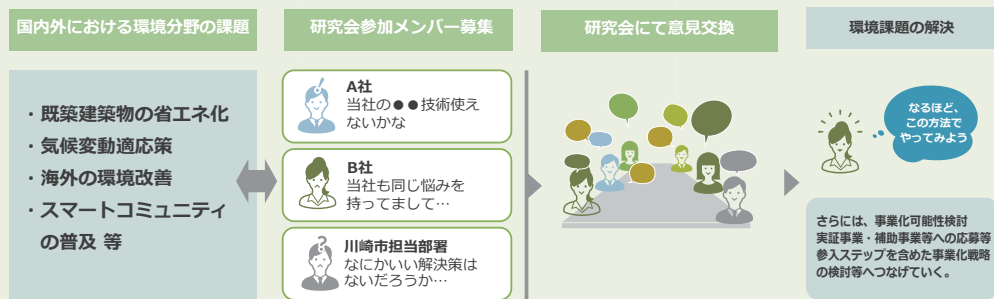
「グリーンイノベーションの案件創出に向けた研究会」は、環境課題の解決に向けて、本市と事業者が協働し、環境分野における事業化アイデア獲得を促進させ、将来的に市内外に展開可能な「グリーンイノベーション」関連案件を持続的に創出していくことを目的として開催しています。テーマとしては、行政だけでは解決することが難しい環境分野での社会課題、中でも将来的に市場創出が想定されるものを取り上げています。

研究テーマの視点



研究会の流れ

研究会は以下の流れで行います。



過去の研究テーマ

これまでの研究会では、下記のテーマについて検討を行いました。

開催年度	テーマ
2018年(平成30年)	インドネシア国バンドン市における河川浄化に関するビジネス研究
	マレーシア国ペナン州の建物をモデルとした省資源・省エネ化に関する研究
2019年(令和元年)	インドネシア・バンドン市における廃棄物適正管理に関するビジネス研究
2020年(令和2年)	南武支線沿線におけるスマートコミュニティに関するビジネス研究
2021年(令和3年)	富士見公園周辺の脱炭素化に関するビジネス研究

バンドン市との新プロジェクトに発展し、2019年4月～環境省事業による都市間連携を開始しました！

ペナン州との新プロジェクトに発展し、2020年10月、JICA 草の根技術協力事業に採択されました！

連絡先

川崎市環境局地球環境推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 044-200-2169
 30tuisui@city.kawasaki.jp 044-200-3921



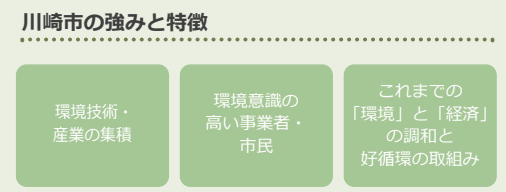
GREEN INNOVATION KAWASAKI 2021

令和3年度 環境分野における事業化アイデア獲得を目指した川崎市グリーンイノベーションの案件創出に向けた研究会

世界的な課題となっている地球温暖化等の問題を解決していくには、地球全体で考え、地域で出来ることから対応を進めていくことが求められています。

このことから川崎市では、川崎市の強みと特徴である、環境技術・産業の集積を活かし、市内の温室効果ガスを削減するとともに、「環境」と「経済」の調和と好循環の取組をより一層推進することで、持続可能な社会の創造を目指す「グリーンイノベーション」に取り組んでいます。

その取組の一つとして、「グリーンイノベーションの案件創出に向けた研究会」を開催しています。



「環境技術・産業を活かした持続可能な社会」を目指す

その都市の実現に向けた『4つの方向性』

- 1 環境技術・環境産業の振興
- 2 優れた技術を活かす環境配慮の仕組みづくり
- 3 多様な主体の協働による環境技術を活かしたまちづくり
- 4 環境技術を活かした国際貢献の推進



富士見公園周辺の脱炭素化に関するビジネス研究

1. 研究会の概要

川崎市では、市制100周年を迎える令和6年度の全国都市緑化かわさきフェア（緑化フェア）の開催に向けて取り組んでいます。

今年度は、緑化フェアの式典や行催事等の会場として想定されている富士見公園周辺～川崎駅をフィールドとし、脱炭素化に関するビジネス研究を実施しました。

研究会（全3回）及び現地視察には17社の民間企業に参加いただきました。

2. 研究会の内容

研究会においては、緑化フェアの開催を契機とした、脱炭素社会の実現に向けて、2024年および2030年を見据えた短期的・中長期的な観点から、グリーンイノベーションの案件創出に向けた幅広い議論を行ないました。



富士見公園周辺では、次の100年により豊かな環境をつないでいくきっかけとなり、全国へ川崎のみどりを発信するため、市制100周年を迎える令和6年度の全国都市緑化フェアの開催誘致に向けた取り組みを進めています。

研究会では、富士見公園周辺における脱炭素社会の実現に向けて、「エネルギー」「モビリティ」「ライフスタイル」など複数分野にまたがる検討を行い、アイデアを取りまとめました。

■ 富士公園周辺の概要

富士見周辺地区の課題解決に向けた具体的な道筋を示すものとして、平成20年3月に「富士見周辺地区整備計画」を策定し、富士見周辺地区の総合的・一体的な整備に取り組んでいます。

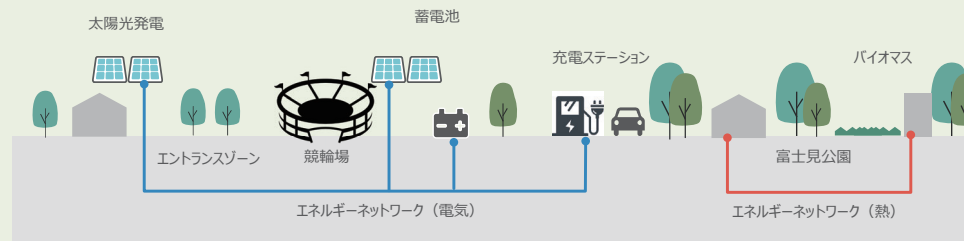


川崎市で初めての都市公園として1940年に開園。「富士見球場」のほか多目的広場である「市民広場」「ふれあい広場」や「かわQホール」等が立地。

「エネルギー」、「モビリティ」、「ライフスタイル」をテーマとして設定し、ワークショップを行いました。

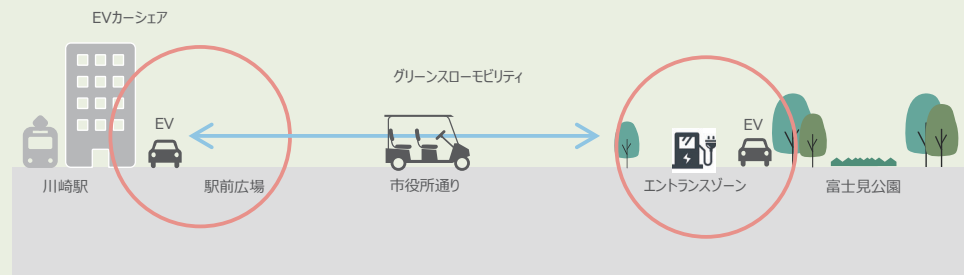
🏠 エネルギー：再生可能エネルギーや新エネルギーの利用推進

再生可能エネルギーや新エネルギーの利用推進に向けて、太陽光発電など再生可能エネルギー設備の導入やEVバッテリーの災害時利用等による分散型エネルギーマネジメント、EV蓄電池のエネルギー分野での利用について検討しました。



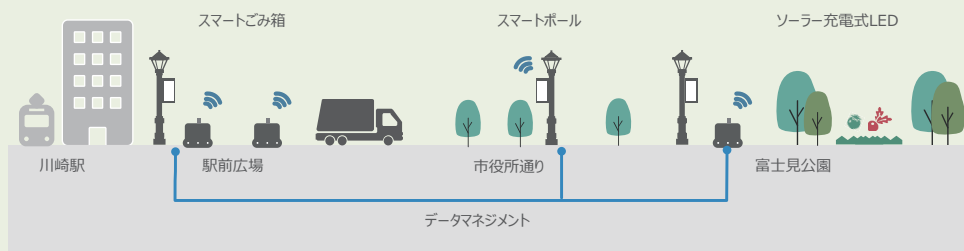
🚗 モビリティ：まちの回遊性向上と低炭素型交通の確立

スポーツ・文化・レクリエーション活動機能強化など富士見公園の機能回復やまちの回遊性の向上を目指し、グリーンスローモビリティの導入や駅周辺の駐車場を活用したEVカーシェアリングによる低炭素型交通の実現について検討しました。



🏠 ライフスタイル：新たなライフスタイルの創造

デジタルインフラを活用したCO₂排出量削減や、まちの賑わい創出に向けて、川崎駅～富士見公園周辺におけるスマートゴミ箱やスマートポールの設置、データマネジメント等による、新たなライフスタイルの創造について検討しました。



3 Seminars

17 Companies

参加企業の業種

- ・ 建設コンサルタント
- ・ 環境エンジニアリング
- ・ ゼネコン
- ・ 総合商社
- ・ 機器メーカー
- ・ 金融機関 など

川崎市の関連部署

- ・ 環境局
- ・ 建設緑政局
- ・ まちづくり局